

〈令和5(2023)年度〉多様な学習機会の提供のために  
生涯学習・社会教育関係職員研修Ⅱ

2023年9月14日



講話

これからの生涯学習・社会教育行政の目指すもの  
～中央教育審議会議論の整理から～

杏林大学客員教授  
文部科学省中央教育審議会委員  
前東京都三鷹市長(2003年～2019年)

清原慶子

## 【本講話の趣旨】

●現在の国の政策等において、これからの生涯学習・社会教育行政が目指すべきものの一つとして

**【ウェルビーイングの実現】**が設定されています。

そこで、その概念について考察します。

●これからの生涯学習・社会教育をめぐる諸課題について、**【第4期教育振興基本計画】**や**【第11期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理】**で話し合われた内容・経緯を共有します。

●**第12期生涯学習分科会**の検討状況を報告することを通して、参加者の皆様が生涯学習・社会教育の当事者として、諸課題の共有と課題解決の取組みを**【自分事】**として考えるきっかけを提起したいと思います。

## 【本講話の構成】

### 1. 目指すべき【ウェルビーイング】の概念について

- (1) 中央教育審議会における教育振興基本計画についての審議から
- (2) 第11期生涯学習分科会における審議から
- (3) こども家庭庁設立・こども基本法施行の趣旨から
- (4) ウェルビーイングについての指標と調査結果

### 2. 今後の生涯学習・社会教育の在り方を考える

- (1) 第11期生涯学習分科会での審議の整理から
- (2) 第12期生涯学習分科会における検討状況から